

## 館林市総合計画審議会 第4回安全と環境の部会 議事録【概要】

1. 日 時 令和2年7月14日（火）午後1時30分から午後3時00分まで

2. 場 所 館林市文化会館2階3号室

3. 出席者

【審議会委員】8名

副部長 服部覚委員

亀山みち子委員、齋藤のぶ江委員、葉坂喜美子委員、吉澤秀明委員、遠藤重吉委員、平井玲子委員、中嶋直一委員

【策定事務局参事】10名

行政課長、安全安心課長、市民協働課長、市民課長、地球環境課長、道路河川課長、建築課長、下水道課長、館林衛生施設組合事務局長、館林地区消防組合消防本部次長兼館林消防署長

【事務局】3名

企画課長、企画課政策推進係長、政策推進係職員

4. 内 容

(1)開 会

(2)あいさつ

(3)説 明

(4)議 事

人口ビジョン素案、総合戦略素案、答申案の審議を行いました。委員の皆様からのご意見・ご質問、審議結果は以下のとおりです。

### ① 委員の意見等に対する回答

・城沼の水質を改善させるためには、合併処理浄化槽への切り替えが必要なことはわかったが、切り替えの費用が70万円ほどかかる。家の世代交代の際は切り替えができるが、古い家庭だとなかなか厳しい状況にあると思う。

また、城沼は橋の上を歩くとごみが浮いており、水が臭いので、そのような状況では館林の魚は潤っていると考えるよいか、10年20年先を考えるとこのままでよいか、今後の方向として、多々良からの導水に全力を傾けてはどうか、水質検査は県の方で行うということなので、市は水質の改善をした方がよい。

⇒ 合併処理浄化槽への切り替えは確かに古い家庭では厳しい点があるかもしれないが、国・県の方でも宅内配管についても補助を出すなど補助金を増加させ対応しており、少しでも良くするために推進に努めていきます。

また、ごみに関しては城沼を管理する漁協に委託し、年数回の清掃やごみのネット交換も行ってもらっています。

城沼と多々良沼を比較すると、城沼の方が人と沼との距離が近いことや、橋があるなどの理由により、ごみが目立ちますがそれを理由に放置してよいわけではないため、解決できるように取

り組んでいきます。

・散歩をしている際に大きなごみを見つけた際にどこかに連絡ができればよいと思う。看板等を設置して、市と市民が協力して取り組んでいくことは可能なのか。

⇒ 管理は土木事務所のため、連絡はそちらにお願いしたいが、市としても協力していければと思います。

## ② 人口ビジョンの審議

・10年位前に厚生病院から整形外科が撤収し、その後産婦人科なども入院ができなくなったが今も同じ状態なのか。

⇒ 今も厚生病院では、整形外科や産婦人科などは入院ができないが、広域連携を行い対応しています。

・良好な生活環境で暮らすということになると、館林に人口を呼ぼうと思った際に、医療環境が良くないと来ないと考えており、10年先を見通すということであれば早急に解決すべき問題である。

・福祉と健康の部会でも同様の件は話されているのではないか。

⇒ 福祉と健康の部会でもご指摘の点は話されており、厚生病院は1市5町で運営しているため、協力して群馬大学へ医師派遣の依頼は継続して行っており、広域的な連携でこの問題に関しては補完していこうとしています。

また、今回の将来展望については国の人口ビジョンを踏まえて作成しているため下がり基調ではありますが、人口の維持を目指して設定させていただいたため、ご理解をいただければと思います。

・前回の第5次の時も同じようなことを議論していたため、このままではまた10年先もそのままになってしまう。医療は根本にかかわる部分のため早急にやっていただきたい。官民を挙げて検討すべきである。

・確におっしゃるとおりで、生活環境について考えた際に医療分野は重要な点ではありますが、このあと全体会がありますので、そちらでまたご意見をいただければと思います。

・市内に厚生病院があるにも関わらず、どうして医者を増やすことができないのか、その原因を教えてください。また、どうしたらいいのか解決するための方針などは決まっているのか、教えてください。

・厚生病院は周りの町と合わせた全体的なところで行っているため、そういった話題については、全体会で話してほしい。

・年齢別のグラフを見た際に、千葉県水澄町のことを思い出したが、そこは人口が増加している。そこは、独自の取り組みを行った結果らしく、水澄町で勉強した方が、愛媛県今治市に帰り学んだことを活かして様々取り組んでいる話を聞いた。館林の方でもいろいろ取り組みをした方が良いのでは。

・確かに様々な取り組みを行った方が良いと思うが、館林は特急両毛号を使えば1時間で東京に行ける好立地を生かして、移住定住を推進して人口が増やせればと思う。市の方ではどういった状況なのか。

⇒ 人口増加は難しい問題で、地方都市は軒並み人口減少に苦しんでいる。館林はこれまで転出超過であったが、最近では転入数がやや増加傾向にあります。その明確な理由は図りかねますが、新型コロナウイルスなどの影響により社会動態が変わってきたのではないかと思います。しかし自然増については出生率が上がらず、なかなか難しい状況であり、近隣市と比較しても周りの状況も同じような状態にあります。

・歴代の市長達も医師不足は非常に重要な問題だと考えていて、群馬大学の医師会長などに話をしてきたが、なかなか医師不足のこれが原因だというものがはっきりしていない。なので、様々な意見を集めて医師が来てもらえるように働きかけを行わないといけない。昔は「医は仁術」という方もいたが、今は傾向が変わってきている。

・時代が変わったため、人力以外のインターネット等の力を使っていかななくてはいけないと思う。

・今回このような資料を見ると、資料のための表現や言葉が並んでいるように感じられ、例えば昨年と違い今年はこれに力を入れますといったところがわかればわかりやすいと思う。

⇒ 国の目標に市も合わせて踏襲せざるを得ない、出生率の上昇や社会増減については、総合戦略の中で移住定住、婚活支援事業等を行いながら人口減を食い止めていければと考えております。

### ③総合計画素案 基本目的（修正案）

・総合計画素案の社会リスクを社会的リスクと変更し、説明書きも追加されたが、この説明書きが併記されないならば、説明の中に取り入れた方が良いのではないか。

⇒ 社会的リスクの説明書きに関しては併記させていただく予定となっています。

### ④総合戦略の検証

・総合計画の施策の方向でごみを減らす（産まない）仕組みづくりと修正されているが、施策として具体的に何が変わっているのか。

⇒ ごみを減らす分野は多岐にわたり、消費者側と生産者側に分かれますが、ごみは作らなければ生まれないため、最近ではレジ袋の有料化が開始されましたが、マイバックを使用させていただくことで、ごみを産まない行動をしてもらえればと思います。

また、館林では平成10年からマイバック活動を推進しており、今年のレジ袋有料化に伴い、終了しました。

・例えば、城沼や多々良沼などで発生したごみの量をお知らせするような情報が確認できれば、市民もごみを減らそうという気持ちができるのではないか。

・先ほどのものどうやって水がきれいになったかも入れてほしい。

### ⑤ 総合戦略4つの基本目標

・総合戦略成果指標の住みよさランキングが上昇した理由を教えてください。

⇒ 住みよさランキングは東洋経済社が出した値となっており、基準値が大幅に上がっている理由は、快適度や富裕度が上昇したことが、主な要因となっています。快適度では「人口当たりの財政歳出額」が無くなったこと、富裕度に関しては、「人口当たりの法人市民」が追加されたことが順位が大幅に増加した原因ではありますが、こちらの数値はあくまで参考値としての扱いをしてい

ただければと思います。

・平成27年の223位から平成30年の442位のように順位が変動した際も、指標のものさしが変わったことで起こった結果でよろしいのか。

⇒ そのとおりです。

### ③答申案

・市内にある道や河川でも国・県・市などと管轄が分かれており、市民からするとそれはわからないし、それは災害時においても同様であるため、市や県が災害時に連携する際の情報、例えばこの道は危ないとか水没したことがあるなどの情報をまとめたわかりやすいものがあると良い。

・ハザードブックでは河川分野において、県のものか国のものかわかるように標記している。市民のかたに、ここがこうゆう風に危険だったとわかるようにしていただければ、わかりやすいと思います。

⇒ 水害に特化して部分であるが、ハザードブックのなかで道路冠水が発生しやすい場所のところは実績で拾い上げてすでに記載してあります。

・次回作成する際には、市民のかたに危険個所がわかりやすくしていただければと思います。

・もしまた作るようであれば、ハザードブックの中で表示している浸水エリアの色を見やすいものに変更してほしい。

・改めてハザードブックを作る際には、避難の仕方を記載してほしい。また感染症対策も踏まえたうえで作成をお願いしたい。

自然環境分野の施策の方向で、二酸化炭素を減らす動きの中で、出た二酸化炭素の減らす動きについては記載されていない。インドのテヘランに行った際に、砂漠の中に木に囲まれた公園があり、そこは木の力により空気が全く違っていていた。これからは計画的に二酸化炭素を減らすために、木の伐採は計画的に行ってほしい。

⇒ 地球環境課の立場ですと出た二酸化炭素減らすというより、排出自体を減らす方向にあります。また、館林は立地的に山が無いので樹木の数は少ないですが、木を植えて二酸化炭素を減らすというより、市民の方々には日々の生活の中で排出を少なくするように改善していただければと思います。

## 5 閉会